

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和 4年 5月 10日

事業所名 ピースフルケアおりひめ

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	100%	0%		
	2	職員の配置数は適切である	100%	0%		
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	50%	0%	2階でエレベーターがないため階段利用になりますが、介助職員を配置し安全に階段利用できるように配慮しています。2階フロアはバリアフリーでトイレには手摺を設置しています。	歩行が困難なご利用者様に適切な箇所への手摺の増設を検討しています。
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	100%	0%		
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	100%	0%		
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	83%	17%	自己評価結果は事業所ホームページで公開しています。	事業所ホームページに公開している旨、職員への周知を徹底していきます。自己評価結果は打合せでも報告していくようにします。
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	100%	0%		
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	100%	0%		
適切な支援の提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	100%	0%		
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	100%	0%	事業所独自のアセスメントツールを利用しています。	今後、標準化されたアセスメントツールの導入も検討していきます。
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	100%	0%		
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	100%	0%		
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	100%	0%		
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	100%	0%		
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	100%	0%	打合せに参加できない非常勤職員については、議事録や常勤職員からの伝達により確認して頂いています。	

16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	67%	33%	支援終了後に打ち合わせを行う時間が取れないため、次の日の朝の打合せで振り返りを行っています。打合せに参加できない非常勤の職員については、気付いた点等を電話等で報告を頂いています。	
17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	100%	0%		
18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	100%	0%		
19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ合わせて支援を行っている	100%	0%		

関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	100%	0%		
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	100%	0%		
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている	67%	33%	現在、医療的ケアが必要なご利用者様はいません。今後、医療的ケアが必要な方の利用があった際は、主治医等との連絡体制の整備していきます。	
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	67%	33%		今後、保育所や児童発達支援事業所等と連携を図り、情報共有できるよう体制整備に努めてまいります。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	83%	17%	相談支援事業所と連携し支援内容の情報提供や、退所される前に支援中の様子を見学して頂いております。また、障がい福祉サービス事業所等から情報提供の依頼があった場合は、いつでも情報提供できるよう準備しております。	
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	100%	0%		
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	50%	50%	児童クラブや児童館との交流は、安全面への配慮から実施していません。ただし社会との交流は必要ですので、公園等への外出機会を設けて、障がいのない子どもや大人と交流する機会を作っています。	
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している	83%	17%	定期的に関催の事業所連絡会に参加し、他事業所と情報共有を図っています。	
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	100%	0%		
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	67%	33%	より細やかな支援が必要と思われる保護者様には、常に支援させて頂いています。	
	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	100%	0%		
31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	100%	0%			

保護者への説明責任等	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	0%	100%	保護者会の開催を予定していましたが、コロナ禍により延期になっています。	コロナ感染状況を確認し開催時期について検討していきます。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	100%	0%		
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	83%	17%	外出活動等のお知らせなど適時行っています。	定期的に活動内容等を保護者様へ報告できるよう、会報の発行なども検討していきます。
	35	個人情報に十分注意している	100%	0%		
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	100%	0%		
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	33%	67%	安全面の確保やコロナ禍により、現在では対応が難しく実施していません。	施設を開放した地域交流は必要であると思いますので、近隣住民を招待したお祭りなどのイベント開催も検討していきます。

非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	100%	0%		
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	100%	0%		
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	100%	0%		
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	100%	0%		
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	83%	17%	現在、アレルギーのあるご利用者様はいません。アレルギーのある方がご利用の際には、保護者様と連携を図りながら対応していきます。	
43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	83%	17%	ヒヤリハットがあった際は報告書を作成し、打合せで共有しています。	今後、ヒヤリハット事例集を作成し、いつでも閲覧できるように整備していきます。	